



ロータリーを通じて 世界理解と平和を

WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY



会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 迎田 稔 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 横田庄司 青少年奉仕 佐藤順治
出席報告：会員 69 名 出席 57 名 出席率 82.61 % 前回出席率 66.67 % 修正出席 57 名 確定出席率 82.61 %

山形県政の近況について

山形県議会議員 渡部 初氏

今迄は山形県政に於て内陸偏重であるとの会話等がいろいろなされて来ましたが、最近はやっと内陸も庄内も調整がなされまして、均等に公共工事等の施策をモットーにして県政がなされて居ります。特に庄内地方に関して代表的な事を若干申上げましてご参考にご供したいと思ひます。

最近やっと山形市や表日本の仙台との経済圏に含まれつつあると申す事が出来るようになりました。と申しますのは、交通網の整備、特に112号線の開通であります。長さ30.8km、総工費463億9千万円でございます。

約1km当り15億円余でございます。今問題となつて居ります庄内空港と比較いたしますと仮に庄内空港が250億円から300億円位かかるものと想定いたしましても約3分の1の費用で済む訳であります。庄内空港に関しましては以前にも話がかかりいい線迄進んだ事も有つたのでありますが、昭和45年頃一時ストップしたのでありますが最近特に経済的にもきびしい時代を迎え、高速交通網の整備を行い産業の刺激と流通活動を旺盛にして、地域の発展を計らなければならないという狙いがあります。空港予定地は19の候補地の中から4箇所にして、最終的に鶴岡北の場所に於て5月1日に決定いたしましたので、県に於てもこれから気象状態の調査、土地買収、そして工事の着工というこびとなります。

現地地の地権者の農民の方々といろいろお話をいたしました。彼等は空港の重要性については充分理解出来るが、土地を生活の基盤として居るので子孫の為にも何んとか充分な配慮をお願いしたいとの話でございましたので、庄内地区14市町村に於て代替地を斡旋する為の公社等を作り、地権者の方々も積極的に土地の心配なく空港建設にご協力いただけるようにすべきだとの態勢になつて参りました。

大体自然にまかせても10年位で完成するのではないかと思はれますが、なるべく早く完成する

ように努力して参りたいと考えて居ります。

庄内空港の実現を計る事に依り、産業・観光両面からの振興を計り、現在の県民所得が全国で下から5～6番目という状態を、全国平均に近づける努力をする事がこれからの県政に課せられた大きな目標だと考えて居ります。

次に横断自動車道についてですが、少くとも昭和67年の国体迄には東北自動車道から主会場の山形迄はつなげるようにして、引続き庄内方面にも伸ばしていけるように努力していきたいと考えて居ります。

月山ダムですが、建設省直轄で多目的ダムとして着工致しましたが、昭和56年度が新規採択でありますからなるべく早く完成出来るように努力したいと思います。ダムの容量は約6,500万トンの貯水量ですが、寒河江ダムが1億トンでございますので約65%の容量でございます。堰堤の高さは寒河江ダムがロックヒル方式で115mの高さですが、月山ダムはコンクリート方式にて125mの高さとなつて居り、寒河江ダムより10m高くなる予定でございます。

現在の赤川の流水断面は毎秒2,500トンであります。毎秒3,000トン位迄処理出来るように改修しながら月山ダムの完成と併せて集中豪雨に依る洪水から守っていきたくと考えて居ります。

次に教育問題ですが、県立高校の整備の件は昭和54年から昭和58年迄の5ヶ年計画で約200億円の予算で順次整備致して居りまして、現在も鶴岡南校も整備中ですが、鶴岡工業や鶴岡家政高校も整備されて居ります。鶴岡北校に関しましては、教職員の方々やPTAの方々等に於て新校舎の土地の問題が色々とうわさになり遅れて居りますが、県の方針としましては、現在の土地に建てるのが最も適当であるとの見解であります。現在の生徒達の意見も現在地に建てた方が良いとの意見が大多数であるとの事ださうです。

県の公共工事に於て、現会員の佐藤工務店さん

庄内に空港を建設しましょう

を初めとして色々とお世話になって居りますが、黄金～道形線に跨線橋を作る予定になって居り、予算的には今迄1箇所跨線橋を作りますと約15億円位かかって居るようですが、これが完成いたしますと、中央工業団地への通り抜けがスムーズになりバイパス的な働きをいたしますので駅前通りの混雑の緩和に役立つものと考えられます。

今後も加藤紘一代議士をトップに、同志の市議会議員や県議会議員や鶴岡市長の齋藤第六市長とも協力しながら鶴岡市民を初め、山形県民の為に全力投球で皆様方の期待に答えられますように頑張ってお参りたいと考えて居りますので、今後共々よろしくお願い致します。どうも有難うございました。

会長報告

◎R.I会長ノミニーの選挙について

R.I会長選考委員会から指名されましたウイリアム.E.スケルトン氏と、クリントンロータリー・クラブより推選のハリ.F.フィニッス・ジュニア氏の2名の名前が上がって居りまして石黒ノミニーが出席予定のダラスに於て決定される訳ではありますが、会長候補者が複数になったのは1953年のパリ大会以来で、29年振りの事だそうです。両氏共に地区ガバナーやR.Iの役員等を経験している方だそうで、どういふふうに着がなされるのか大変興味を持たれます。

ザ・ロータリアン誌に掲載されましたが、まったく同等のスペースで取扱われておりますのはさすがにロータリー・クラブだと思えました。それから会長選挙に於て選挙運動した人の方がしない人よりもロータリーに対して関心が有るといふのは間違いであるとも書かれていますが、R.I理事の選出に関しては選挙運動を禁ずる規定は有ってもR.I会長の選挙運動を禁止規定は含まれて居りませんという事です。

○庄内病院に入院中の早坂源四郎会員にお見舞に行ってお参りましたが、大分お元気になられました付添いの方と喧嘩が出来る程の回復でございました。

○石黒慶之助がバナーノミニーにガバナー研修の為のご餞別10万円をクラブより贈る。

石黒慶之助ガバナーノミニーより謝辞

5月21日より鶴岡を出発し、サンフランシスコシカゴ、ニューヨーク、ワシントンを経てボカラートンに入ります。ボカラートンに入った時からガバナーイレクトとして9日間の研修を受けた後にダラスの国際大会に出席して参ります。

会員の皆様方には日頃から物心両面にわたりご

協力をいただき心から感謝申し上げます。このたびはご餞別迄ご心配いただき重ねてお礼申し上げます。帰って参ります時はガバナーイレクトとして元気に帰って参りますのでよろしくお願い致します。どうも有難うございました。

幹事報告

- 第253地区R.Y.L.A実行委員会より礼状が参って居ります。
- 会報到着藤沢ロータリー・クラブ、東京ロータリー・クラブ

委員会報告

会長イレクト 中江 亮君

次年度の各委員長さんは5月25日迄活動計画書を作成し、事務局の山下さん迄必ずご提出願います。

スマイル

佐藤友吉君

本日のゲストスピーカーの渡部初県議よりスピーチの中で仕事を通していろいろ誉めていただいたので。

ビジター

(鶴岡西R.C) 菅原利雄君、石寺龍象君、三浦正志君、菅原幸雄君

◎庄内分区代理主催による新旧会長・幹事会

5月14日 P.M 4:30より湯の浜亀屋ホテルに於て。

出席者 新穂会長、中江会長イレクト、佐藤副幹事。

4:30より6:00迄研修会を行い、6:30より懇親会を行い大いに親睦を深めたようです。

◎今後の当クラブ関連のスケジュール

5月18日 例会新穂会長による孟宗汁会

5月21日 石黒ノミニー鶴岡出発

5月29日 I.C.M反省会

6月1日 クラブ協議会(新旧委員長による)

6月8日 理事会 P.M 6:00 新萌

6月19・20日

地区協議会 天童

6月22日 例会地区協議会報告(中江イレクト他)

6月29日 会長・幹事最終挨拶